

座では、ゲストに柔道・剣道・華道・着物の中から1つ体験してもらいます。文化発表会では、夕食をとりながらゲストが自国の紹介を行います。このグループの生徒はこれらのセッティングを行います。

- Group 7 Buddy : ゲストが到着してから出発するまでの間、1人が1校を担当して Buddy として付き添い、様々な面で手助けをします。
- Group 8 Presenter : 生徒は“Bridging Culture” “Reflection on History” “Nuclear Disarmament” “Environmental Sustainability” “Economic Inequality” という5つのテーマに分かれてプレゼンテーションを行います。ゲストも同じテーマでプレゼンを準備していますので、意見の交流を行い、そのまとめを発表します。

今まで経験したことのない大きな国際イベントのため、生徒も教職員も試行錯誤を繰り返しながら企画や準備を進めています。生徒の役割は、イベントの企画など多岐にわたり、生徒を主体にイベントが進められています。本校は、特に英語と国際教育に力を入れており、今回のイベントでも様々な国から生徒が来るとのことで、企画・運営に参加する生徒の意識も非常に高く、自ら志願し積極的にイベントの準備をしています。

このイベントにおける本校生徒の役割は非常に重要です。まず、10カ国という多くの国からゲストが集まるため、共通語は英語のみです。そして、言葉の違い以上に様々な文化的な相違が予想されます。生徒は多くの戸惑いや問題にぶつかることでしょう。しかしそこで、互いに考えや意見を交流し、妥協点や解決策を見つけながら異文化の壁を乗り越えていくことが、生徒に課せられた最も重要な役割です。

例えば、Group 1 察担当の生徒は、生活習慣の違いからくる問題に対処しなければなりません。Group 6 の生徒は日本の文化に親しんでもらうために綿密な準備をしていますが、不測の事態に臨機応変に対処しなければなりません。Group 7 の生徒は、最初から最後までゲストにつきっきりでサポートをするため、精神的身体的なタフさが求められます。そして Group 8 の生徒は、同じテーマでも文化の違いによる視点や意見の相違を戦わせながら、共通性を見いださなくてはなりません。他の全ての生徒も同様です。

これらのグループに属してはいませんが、「京都文化体験」

和野 知子（わの ともこ）

立命館宇治中学校高等学校
IB 教育部 副部長・IBDP 国語教員
高校2年1組担任



「あなたは今幸せですか？」

ISF 生徒代表

長藤 愛理

立命館宇治高等学校 3年生

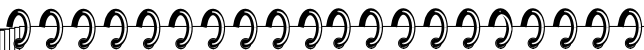
先進国に生まれ、不自由のない生活をしている私だが、「はい。幸せです。」と即答することが出来ない。

そもそも「幸せ」の定義は何なのだろうか。世界を見渡せば、毎日生き延びることで精一杯で、日々死を目の当たりにして生きている発展途上国に住む人々がたくさんいる。その人たちと比べ、私たち先進国に住む人々は、何一つ不自由がない。それにもかかわらず自分が「幸せ」だと自信を持って言い切ることができないのだ。また、自分の国が戦争をしていないから「平和」なのであろうか。「平和」という言葉はあまりにも抽象的すぎて人それぞれ捉え方が違ってきてしまう。

私はこの国際学生フォーラムを通じて、色々な異なる考え方を持つ人たちと議論し、できるだけ多くのことを学びたいと思う。そしてこの経験を私の将来に繋げていきたい。

のために参加している普通コースの生徒たちもいます。彼らは2~3人のチームを作り、1チーム3~6人のゲストを連れて京都の名所を案内し、夕食も一緒にとります。ゲストに喜んでもらえるよう、プラン作り、交通手段の選択、夕食の店探し、予算の管理などを準備として行っています。日本が初めてのゲストも多く、当日どんなハプニングがあるかわかりませんが、どんな場合でも冷静に、臨機応変に対処しなければなりません。

このイベントの成功は、生徒にとって大きな自信になることでしょう。それは英語力、コミュニケーション力に対する自信を得るだけでなく、自分自身が国際舞台へ出て行くときの大きな指針と勇気を得ることにもなるでしょう。



立命館宇治中学校・高等学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

HP : www.ritsumeit.ac.jp/ujc E-mail : uji-returnee@ujc.ritsumeit.ac.jp



世界から高校生が集い、世界が抱える様々な問題を議論する。そんな国際イベントに参加し、企画・運営に関わる。高校生としてのそんな経験は、将来の大きな「宝」となります。

立命館宇治は大学の付属校としての特徴を活かしながら、他校では提供できない様々な貴重な機会を生徒に与えています。生徒は幸せです！